

# 歯科衛生士 & 歯科医師のための Dental Hygiene Process (歯科衛生業務の進め方) を活用した 自律した歯科衛生士養成コース

## Course Director



俵木 勉  
Tsutomu Tawaragi

FOR DENTAL  
HYGIENISTS &  
DENTISTS

04

DAYS COURSE

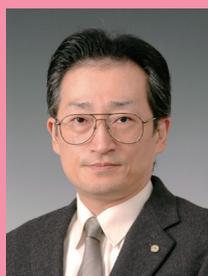
## Instructor



村上 恵子  
Keiko Murakami



林 丈一郎  
Joichiro Hayashi



龍田 恒康  
Tsuneyasu Tatsuta



石井 麻紀子  
Makiko Ishii

### コース料金

【コース番号:14231001】 **¥90,000**

### 主な認定制度

- 日本歯科医師会認定研修会
- 明海大学「歯科総合医」認定研修会
- 日本歯周病学会専門医・認定医の更新単位認定研修会(7単位)
- 日本歯周病学会認定歯科衛生士更新単位認定研修会(5単位)

コースの詳細・お申込みは  
こちらから▶



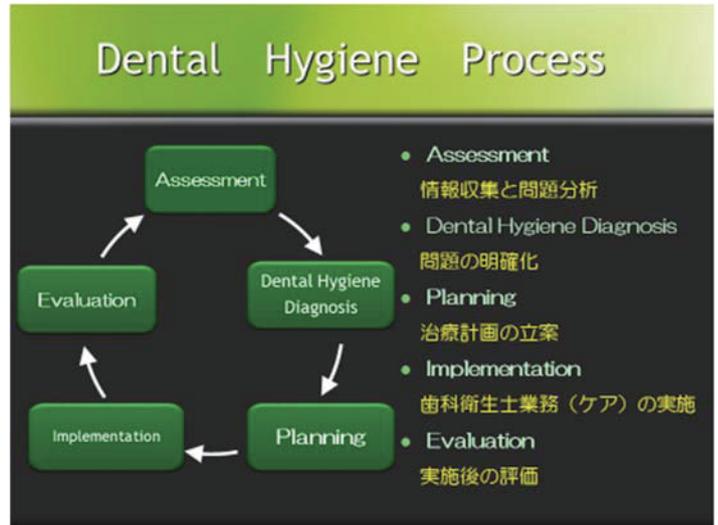
# INTRODUCTION

Dental Hygiene Process (歯科衛生業務の進め方)とは、歯科衛生士が患者様の担当者として歯科衛生士業務(ケア)を自律して展開するための思考ツールです。まず、患者様の情報を収集して分析することにより、問題解決に必要な歯科衛生士診断を行います。次に、その診断に基づいて治療計画を立案し、歯科衛生士業務の実施をします。そして、自ら歯科衛生士業務の結果を評価します。このサイクルを繰り返すことにより、歯科衛生士は、単に歯科医師の指示に従って業務を行うクリーニングレディではなく、歯科衛生の観点から自ら考えて対応できる、“自律した”歯科衛生士へと成長していきます。

アメリカでは1970年代から歯科衛生士教育の中で、Dental Hygiene Processが徹底されてきました。村上恵子先生は、アメリカでその教育を受けアメリカの歯科衛生士の資格も取得しています。そして、日本の歯科医院で30年以上Dental Hygiene Processを実践されています。

自律した歯科衛生士として患者様に向き合うことは、歯科衛生士としてのやりがいにつながるでしょう。また、歯科医師にとっては、頼りになるパートナーとなり、医院全体のクオリティも向上していくことでしょう。

しかし、Dental Hygiene Processを理解している歯科医師の元でなければ、十分にその能力を発揮することができません。是非、医院長あるいは同じ職場の歯科医師も一緒に参加してください。最新の歯周病学の講義とハンズオンは、歯周病専門医である林 丈一郎先生が担当しますので、歯科医師にとっても、歯科衛生士の観点からペリオを基本から学びなおす良い機会となることでしょう。また、4日目には口腔外科専門医である龍田 恒康先生による口腔粘膜疾患と口腔癌に関する講義も行われます。



## プログラム内容

### DAY ONE

#### ASSESSMENT アセスメント

#### DENTAL HYGIENE DIAGNOSIS 歯科衛生士診断

講師/村上 恵子・林 丈一郎・石井 麻紀子

### DAY TWO

#### PLANNING プランニング

講師/村上 恵子・林 丈一郎・石井 麻紀子

### DAY THREE

#### IMPLEMENTATION

#### 歯科衛生士業務の実施

講師/村上 恵子・林 丈一郎・石井 麻紀子

### DAY FOUR

#### EVALUATION 評価

講師/村上 恵子・林 丈一郎・龍田 恒康・石井 麻紀子

【コース番号:14231001】【歯科医師】【歯科衛生士】

## DAY ONE : ASSESSMENT アセスメント

## DENTAL HYGIENE DIAGNOSIS 歯科衛生士診断

## 講義

- 歯科衛生過程とは
- ペリオの病因論の変遷と治療の考え方
  - なぜ歯周病は治るのか
- アセスメントとは
  - 情報収集と情報処理
  - 歯科衛生士による歯周病検査
- 歯科医師による診査
  - エックス線写真の読み方
  - 咬合性外傷の診査方法
- 歯科衛生士診断とは
  - 情報の整理と問題の抽出



## ハンズオン

- プロービングとエクスプローリング
- 動揺度と咬合診査

## プラクティス

- エックス線写真の読影

## グループワーク

- アセスメント表の記入



## DAY TWO : PLANNING プランニング

## 講義

- 歯科衛生士計画
- 歯肉縁上のプラークコントロールの考え方
  - 超高齢社会
    - 日本のブラッシングの現状
  - 手用歯ブラシと電動歯ブラシ
- プラークコントロール指導の実際
  - 患者教育
  - オレリーの意味するもの
- PMTC は必要か？
- 歯周外科治療の考え方と適応症



## ディスカッション

- セルフケア器具を考える

## グループワーク

- プランの立て方

## ハンズオン

- シャーピング



村上 恵子

Keiko Murakami

村上歯科医院歯科衛生士  
アメリカ歯科協会 (ADA)  
Registered Dental Hygienist (RDH)  
神奈川歯科大学客員教授



林 丈一郎

Joichiro Hayashi

明海大学歯学部  
口腔生物再生医学講座  
歯周病学分野教授  
日本歯周病学会指導医・専門医



龍田 恒康

Tsuneyasu Tatsuta

明海大学歯学部  
病態診断治療学講座  
口腔顎顔面外科学分野教授



石井 麻紀子

Makiko Ishii

明海大学歯学部  
口腔生物再生医学講座  
歯周病学分野講師

1・2  
FOR DENTAL  
HYGIENISTS &  
DENTISTS  
04  
DAYS COURSE

## DAY THREE : IMPLEMENTATION

## 歯科衛生士業務の実施

## 講義

- スケーリング・ルートプレーニングの考え方
  - ー何を除去するのか。SRP とデブライドメントの違い
  - ーポケットが再発する2つの要因
- プロフェッショナルケア
  - ープロフェッショナルケアのゴールとは？
  - ー器具の把握と準備
    - ・超音波スケーラーの特徴
    - ・エアースケーラーの特徴
    - ・ハンドスケーラーの特徴
    - グレーシーキュレット
- インストルメンテーション SRP の実際



## ハンズオン

- スケーリング・ルートプレーニング
  - ー抜去歯を用いた器具操作
  - ーマネキンを用いたポジショニング
  - ー豚顎を用いたブラインドテクニック
- 超音波スケーリング



## DAY FOUR : EVALUATION 評価

## 講義

- 歯科衛生士による再評価
- 口腔機能回復治療
  - ーブリッジ、義歯、インプラントの利点と欠点、適応症
- 天然歯のメンテナンス
- インプラントのメンテナンス
- 口腔粘膜疾患と口腔癌



## ハンズオン

- 口腔内写真撮影
- 口腔粘膜疾患と口腔癌の診査

## ディスカッション

- メンテナンスがうまくいかない症例への対応
- お悩み症例相談

■ 定 員：20名

■ 日 時：4日間

2023年10月22日(日)

10:00~17:00

2023年11月26日(日)

10:00~17:00

2023年12月17日(日)

10:00~17:00

2024年1月21日(日)

10:00~17:00

■ 会 場：千葉・浦安市

明海大学PDI浦安歯科診療所

2024年1月21日(日)のみ

千葉・浦安市

明海大学浦安キャンパス保健医療学部

■ 対 象：歯科医師・歯科衛生士

■ 受講料：¥90,000

3・4

FOR DENTAL  
HYGIENISTS &  
DENTISTS

04

DAYS COURSE